

関西財界セミナー賞 2025

関西財界セミナー賞は、関西において、強い競争力や優れたビジネスモデルを持ち、その独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人を表彰している。

大賞

グラングリーン大阪開発事業者



<受賞理由>

うめきた 2 期地区開発事業「グラングリーン大阪」が 2024 年 9 月に先行まちびらきした。関西の交通結節点である大阪・梅田駅に直結した広大な「うめきた公園」やイノベーション施設「JAM BASE」のオープンにより、都市の魅力向上とにぎわい創出に貢献している。

<受賞コメント> 大野 郁夫 三菱地所株式会社 執行役常務

グラングリーン大阪は官民一体のプロジェクトとして「緑とイノベーションの融合拠点」をコンセプトに開発を進めた。先行まちびらき以降、多くの方に来訪いただいている。今後も大阪府・市や関西経済界に協力いただきながら、うめきたから元気を発信し、関西の魅力向上に資するように頑張っていきたい。

特別賞

一般社団法人 COMING KOBE 実行委員会



<受賞理由>

阪神・淡路大震災の被災地である神戸でチャリティー音楽イベントを 2005 年以降毎年開催し、震災の記憶を後世へつなぐとともに、会場内で集めた募金を「神戸からの恩返し」として国内外の震災被災地への支援に活用している。

<受賞コメント>

藤井 治博 実行委員長

中学生のころに阪神・淡路大震災を経験したことをきっかけに、2005 年からチャリティー音楽イベントを継続して開催し、今年 20 年を迎えた。会場内で参加者から集めた募金を被災地に寄付しており、多くの方々の力を借りて開催できていると実感する。2025 年は 5 月に開催を予定している。ぜひご来場いただきたい。

京都学生祭典実行委員会



<受賞理由>

人口の約 1 割を学生が占める京都市で「京都学生祭典」を毎年企画・運営している。学生が主体的に地域社会の課題解決に取り組み、行政や経済界がバックアップする体制は、若い力を地域活性化につなげるモデルとして注目されている。

<受賞コメント>

篠原 萌花 第 22 回京都学生祭典 実行委員長

毎年 10 月に開催する京都学生祭典の運営や、ボランティアなどを通じた地域貢献に取り組んでおり、京都府・市や京都経済界、地元住民の皆さん等に支えられて活動している。今後も地域活性化に向けて、学生一同、努力を続けていくのでご支援たまわりたい。今年の京都学生祭典に皆さまぜひお越しください。

株式会社ホテルニューアワジ



<受賞理由>

関西を中心に旅館やホテルを経営。「街の灯りを消してはならない」を合言葉に、経営難や廃業に陥った宿泊施設の再生にも取り組む。地域の雇用の維持・創出、地産地消の取り組みで、観光業を通じた地域活性化をけん引している。

<受賞コメント>

木下 学 代表取締役社長

1953 年に淡路島で創業してから約 45 年間は 1 軒の民宿として運営していたが、ご縁があって全国のホテル・旅館の再生に携わるようになり、今では 20 軒の宿泊施設を経営している。観光業を通じて、地域全体そして従業員の生活が豊かになることをめざし、これからも努力していきたい。

輝く女性賞

株式会社ビジョンケア

代表取締役社長 高橋 政代 氏



<受賞理由>

神戸アイセセンターを設立し、視覚障害者の問題解決に向けた研究・臨床・患者ケアの一体化を推進。さらに、研究室や病院から生まれるシーズを事業化するため会社を設立し、医師・研究者・経営者として再生医療の発展に貢献している。

<受賞コメント>

ビジョンケアは iPS 細胞の世界初の臨床応用に成功したチームにより設立した会社である。再生医療の実用化には新たなビジネスモデルが必要であったため、同社を立ち上げ、代表取締役社長に就任した。神戸から日本全国、ひいては世界に道を広げていきたいと思っている。ぜひ応援していただきたい。

フジモトゆめグループ 社会福祉法人隆生福祉会

理事長 藤本 加代子 氏



<受賞理由>

グループの経営者として、業界に先駆けて介護ロボットを導入するほか、福祉先進国と連携した人材育成を実施するなど、福祉サービスの向上と働きやすい職場環境づくりに革新的なアプローチを行っている。

<受賞コメント>

19 年間専業主婦だったが、眼科医で会社を運営していた夫を亡くし、突然経営者になった。当初は経営のことは何もわからなかったが、会社も家庭もマネジメントは同じだと考え、「母性の経営」を掲げ、社員のお母さんになろうと決心した。そのおかげで輝く女性賞を受賞できた。今後もますます輝いていきたい。

株式会社ソーイング竹内



<受賞理由>

地場産業の播州織を持続可能な産業とするため、二次元バーコードを用いたノウハウの共有化や最新機器導入による省力化等により女性が主体となって長く働ける就労環境を整備し、女性雇用の創出に貢献している。

<受賞コメント> 竹内 裕児 代表取締役

兵庫県多可郡にて縫製加工・卸売業を営んでおり、現在、従業員の 7 割以上が地元出身者を中心とする女性である。今回の受賞は、従業員一人ひとりの努力の賜物だと思っている。当社では仕事を通じた人間形成を重視しており、縫い合わせて離れないような人間関係の構築をめざし、今後も業務にまい進していきたい。

株式会社ママクリエイターラボ



<受賞理由>

子育て中の女性を対象とした在宅 WEB クリエイターの育成スクール事業により仕事のスキルの育成と就労支援を行っている。成長分野であるデジタル業界への女性の進出を促し、子育てと仕事の両立に新たな選択肢を提供している。

<受賞コメント> 榊原 杏奈 代表取締役

以前は百貨店に勤務していたが、私自身も出産・育児を経験するなかで、子育てとキャリアの両立が難しいと感じた。同様の悩みを抱える女性を応援したいと思い、事業を立ち上げた。現在、全国に約 360 名のママクリエイターが誕生している。企業理念である「じまんのママ」1 万人をめざし、今後も努力していきたい。